

「産学マッチングFS助成制度」に採択された助成件名の概要

| | |
|----------|---|
| NO. 4 | 発毛効果を有するカキドオシ・エキスの研究開発 |
| 代表開発者① | 杉山 俊博（秋田大学医学部教授） |
| 共同開発者② | 株式会社エーティー・ラボ（秋田市） |
| コーディネーター | 保坂 正晴（あきた企業活性化センター） 貫洞 義一（JST イノベーションサテライト岩手） |
| 助成金額 | 東経連事業化センター：100万円（②） JST イノベーションサテライト岩手：100万円（①） |
| 助成期間 | 東経連事業化センター：平成19年10月～20年9月 JST イノベーションプラザ岩手：平成19年10月～20年3月 |
| 課題概要 | <p>杉山教授と㈱エーティー・ラボは、天然植物「カキドオシ(注)」エキスの発毛促進効果を明らかにし、有効性確認の研究を進めていたが、事業化に向け、「カキドオシ」に含まれる発毛促進の詳細な解明が課題となっていた。</p> <p>本課題では、毛髪の基となる毛母細胞を増殖させる技術を利用し、「カキドオシ」に含まれる発毛促進物質を特定・選別し、臨床試験によるデータ蓄積も図る。これにより、天然物である「カキドオシ」を活用した、従来にはなかった毛根組織再生技術の確立を行い、発毛・育毛事業として事業化を目指す。</p> |

(注)カキドオシ：日本全土に自生しているしそ科多年草。4～5月に淡紫色の花を咲かせる。別名癩取草（カトリツウ）と言われ、子供の癩の民間薬として知られている。



カキドオシ



カキドオシ・エキス

(写真：杉山教授提供)

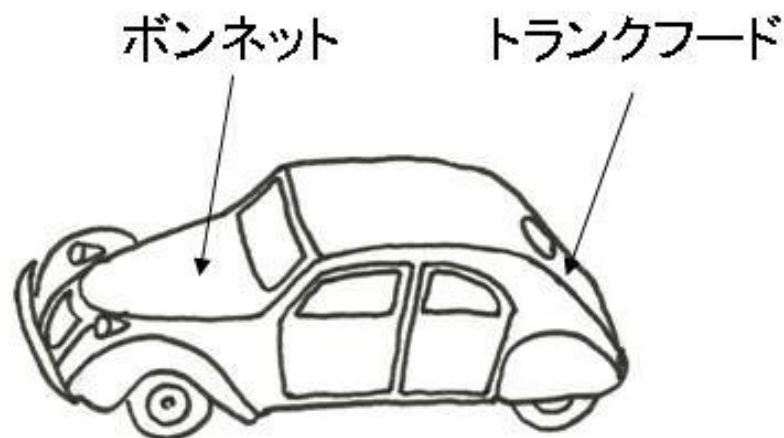
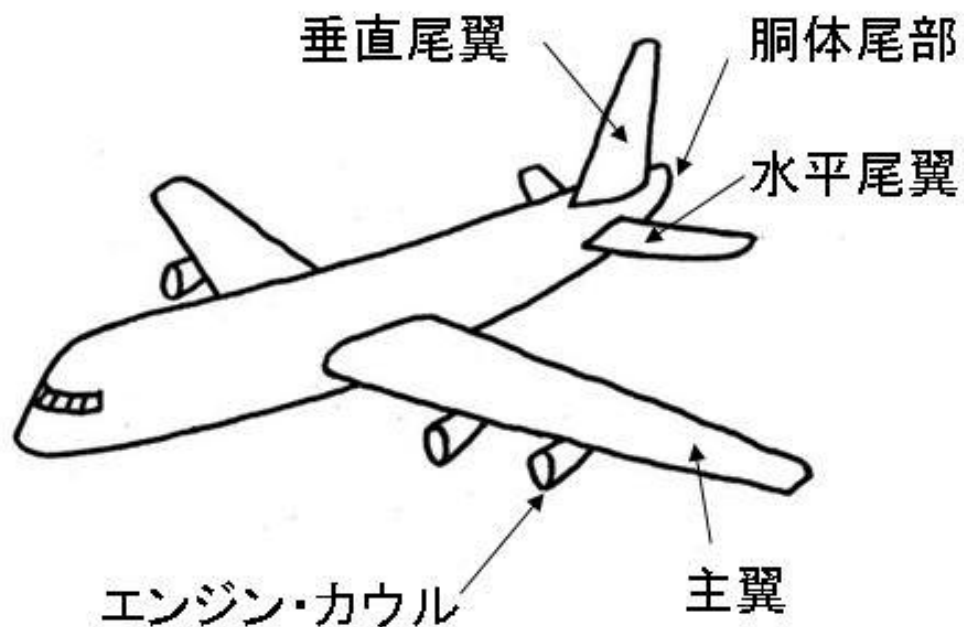
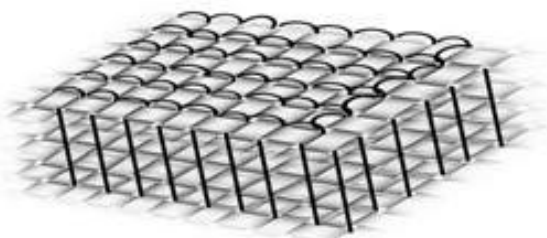
| | |
|----------|---|
| NO. 5 | 薄地炭素繊維織物とその積層織物の製造技術の開発 |
| 代表開発者① | 三浦 文明（福島県ハイテクプラザ福島技術支援センター専門研究員） |
| 共同開発者② | 齋藤産業有限会社（福島県川俣町） |
| コーディネーター | 磯 明夫（福島県ハイテクプラザ） 大野 健一（JST イノベーションプラザ宮城） |
| 助成金額 | 東経連事業化センター：100万円（②） JST イノベーションプラザ宮城：100万円（①） |
| 助成期間 | 東経連事業化センター：平成19年9月～20年8月 JST イノベーションプラザ宮城：平成19年9月～20年3月 |
| 課題概要 | <p>炭素繊維は、アクリル繊維等を高温で炭化した繊維で、樹脂・セラミックス・金属等との複合材料として使用されており、航空機や自動車向けに軽量・高強度の特性から注目を集め、CFRP（炭素繊維強化プラスチック）として、特性強化や利用対象の拡大等の研究・開発が進められている。</p> <p>三浦専門研究員は、炭素繊維の特性強化を目指し積層化に取り組み、従来不可能だった炭素繊維の糸を損傷することなく縫合することを実現、積層縫合シートを形成する技術を開発した。</p> <p>本課題では、これまでも新素材織物に取り組んできた齋藤産業へ積層技術を移転、さらなる積層織物の開発と薄地化を目指し、CFRP化による強度評価を実施するとともに量産化技術確立に向けたシステムの構築を目指す。これにより、積層炭素繊維織物の低コスト化が期待され、自動車車体等への適用可能性の拡大が期待できる。</p> |

※別添の「積層炭素繊維織物のCFRP化による適用部位」を参照ください。

以上

積層炭素繊維織物のCFRP化による適用部位

積層炭素繊維織物



東経連事業化センターの概要

1. 組織名 /東経連事業化センター
(正式名称:東北地域新規事業化支援センター)
2. 設立目的/東北地域の競争力強化に向けて、マーケティング支援をはじめとする新産業・新規事業の創出支援に東北地域の産学官の総合力を発揮して取り組み、地域イノベーション・システムの強化を図ること。
3. 活動期間/5年間(平成18年4月～平成23年3月)
4. 組織形態/東北7県の企業支援機関、産学官連携機関、大手企業等を会員とする任意団体
5. 活動期間/5年間(平成18年4月～平成23年3月)
6. 活動経費/年間5千万円程度

以上

「産学マッチングFS助成制度」の概要

1. 目的

本制度は、東経連事業化センターが産学マッチング支援事業で支援する研究シーズ等に対して、「事業化の可能性を的確かつ迅速に評価するための試験等」(FS: フィージビリティ・スタディ)を行い、事業化を推進することを目的とする。本事業を契機に、国等の競争的資金への申請支援も併せて行う。

なお、本事業は、東北地域全体のイノベーション・システム構築に向け、東経連事業化センター、(株)インテリジェント・コスモス研究機構(ICR)、(独)科学技術振興機構(JST)が協力して実施する。

2. 申込対象

大学等の研究者、東北7県の企業

3. 対象となる技術シーズ

事業化のために可能性試験が必要となっている技術シーズとし、以下を条件とする。

- ① 当該シーズの事業化を目指す企業が存在することを基本とする。
- ② 当該シーズを導入することで従来製品に比べての優位性を示すデータが存在すること。
- ③ 事業化に向けて、特許取得済み、または権利化の可能性が高いこと。

4. 選考および結果の通知

評価基準(※)に基づき審査の上、当センター産学マッチング委員会での評価を経て採択有無を決定する。申込は随時受け付け、採択有無については2ヵ月程度で書面にて回答する。

(※) 評価基準

- ① 市場ニーズが高いシーズであること
- ② 事業化の可能性が高いシーズであること
- ③ 新規性・独創性があるシーズであること
- ④ 適切な研究計画で目標達成の可能性が高いこと

5. 助成金額

100~200万円

当センター単独での助成金額は原則100万円が上限とする。ただし、原則100万円を上限に、併せてJSTの助成も受けることができる。

6. 応募手続き

「東経連事業化センターFS助成申込書」を当センターのホームページ(<http://www.nc-t.jp/>)からダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送で提出する。

本申込書をもって併せてJSTからの助成にも申込みすることができる。

以上